



横浜市立鶴見小学校

学校運営協議会は地域参画による学校づくりを進めます

学校運営協議会だより No.2

鶴見小学校学校運営協議会会長
長谷川 勝一

この度、第2回学校運営協議会が開かれました。

冒頭、学校長より挨拶をいただき、続いて前期の教育活動の報告と後期の予定等の説明等がありました。

当地域は、マンションが多く、地域のつながりや絆も薄い都市型の地域であります。最近の天候の激しさを考えるとき、ひとたび水害が起きた時には学区のほとんどが水没すると言われており、子どもたちを守る上でも、災害時の共助の部分地域の方々との密接な関係を築いていく必要があるだろうと考えております。

小学校では、教職員、保護者、地域からのボランティアさんが教育に携わっておりますが、災害時等には、さらに地域の人々の協力が無くてはならない状況でございますので、地域の方々の小学校への協力をお願いしたいと考えております。

再来年には、鶴見小学校は90周年を迎えます。こちらの準備も運営協議会が中心となって準備を始めてまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。



会長 長谷川 勝一

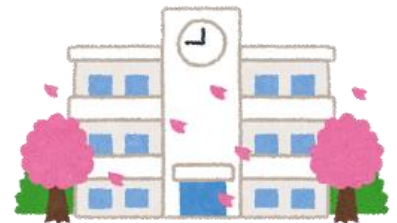
ボランティアを募集しています！

授業のお手伝いボランティアを募集しています。

保護者や地域の皆さん、鶴見小の子どもたちの成長を一緒に見守っていきませんか。

鶴見小では、子どもたちの学びを深めるため様々な体験的な学習が行われています。子どもの学びを深めるために、担任の先生だけでは手が足りない場合があります。ボランティアに登録していただいた方には、お手伝いが必要なときにその都度連絡させていただきますので、ご都合に合わせて無理なく参加できます。ぜひお気軽にお問い合わせください。 教育支援隊隊長 澁谷純子

お問い合わせ先：鶴見小学校 045-521-9618 事務局：起（おこし）まで
教育支援隊 隊長 澁谷純子
学援隊 隊長 本多友二



安全見守りタグをぜひご活用ください

黄色い安全見守りタグ（右図）は、つるみっ子たちを地域で見守ろうという活動の趣旨のもと、作られました。

このタグをつけている大人が地域にいることで子どもたちも安心し、防犯にもつながります。お持ちの方は、通勤やお買い物の時など、ぜひつけていただけるようご協力ください。



教育支援隊・学援隊はこんな活動をしています

鶴見小学校では、地域のボランティアや企業の方にご協力をいただいて、様々な体験的な学習を行っています。**教育支援隊**は、先生と地域や企業の方々をつなぐ準備段階の調整役となり、当日には授業がスムーズに進むようにお手伝いをしています。

学援隊は、学校内外で子どもたちの安全を見守る活動を主にしています。
今年度上半期での主な活動をご紹介します。

◆新入生下校時見守り活動（1年生）

（内容）入学直後の新入生が通学路を通って安全に下校できるように見守る。

（ボランティアの活動内容）コース別の保護者引き渡し場所まで安全を見守る。

ボランティアの方の感想：

- 子ども達の人数確認だけでは不安なことがあった。来年は名前のチェックかクラスごとの人数チェックが必要かもしれない。
- 最終日は、地域の方の参加がなければ成り立たなかったと思う。（人数が必要）



◆まちたんけん（3年生）

（内容）町を探検し、自分たちの暮らす街の様子や建物について学ぶ。

（ボランティアの活動内容）水色ベストを着用し横断旗を使用して、行き帰りの安全を見守る。

ボランティアの方の感想：

- 先生とボランティアの連携で、子ども達が安全に楽しく探検出来た。
- 1クラス40人もいるので長い列になるため、ボランティアの人数はもう少し多い方が良い。
- 横断歩道のタイミングが難しく、他の方も通られる所を40人いっぺんにスムーズに渡せなかった。
- 「今どこにいるか」が地図では分からない子どもがほとんどだったので、大きな地図で確認しながら説明できれば、より地図の理解が深まると感じた。



◆新体力テスト（全学年）

（授業の内容）児童が自分の基礎的な体力を確かめ、自ら体力の向上を目指せるようにする。

（ボランティアの活動内容）50m走やソフトボール投げなどでスムーズに記録がとれるように先生の補助に入る。

ボランティアの方の感想：

- お手伝いをした事で子どもの様子も見られて良かった。
- 子ども達がスタートラインに行く時、どこに行っていけばいいか分かりづらそうだった。
- スタート地点には多くのボランティアがいたが、走って戻ってくる場所と戻って待つ場所への誘導にもう少しボランティアが必要。



◆昔遊び体験（3年生）

（授業の内容）地域の方にコマ回しを教えていただき、昔遊びの魅力について学ぶ。

（ボランティアの活動内容）コマを教えていただける地域の方を探し、授業に参加していただけるよう手配する。



◆防災倉庫を調べよう (2年生)

(授業の内容) 町にある防災倉庫に何が用意されているのか見学する。

(ボランティアの活動内容) 東町会長の早野さんに町内会館にある防災倉庫を見せていただくため、事前打ち合わせ。



◆紙芝居 (2年生)

(授業の内容) 鶴見図書館で活動している団体を知る。

(ボランティアの活動内容) 紙芝居「つるかめ座」さんとの事前打ち合わせ。当日の会場準備。



◆グリーンワックンプロジェクト (3年生)

(授業の内容) 学区内にあるモニュメントについて関心を持ち、作品に込められた思いやモニュメントのある良さを知る。

(ボランティアの活動内容) 区役所総務部区政推進課の方に講師になっていただくため、事前に打ち合わせをし、授業当日の準備のお手伝いをする。



◆パラスポーツ「ポッチャ」体験 (4年生)

(授業の内容) ポッチャのルールを知り、実際に体験する。

(ボランティアの活動内容) スポーツ推進委員の先生との打ち合わせ。当日のインタビューやゲームのお手伝い。



◆ミシンボランティア (6年生)

(授業の内容) ナップザックの製作

(ボランティアの活動内容) なるべく手を出すことはせず、ミシンを安全に扱えるように見守る。

ボランティアの方の感想：

- みんな几帳面で真面目に取り組んでいたの、見守るだけで大丈夫だった。
- 久しぶりのミシンに少し戸惑っているようだったが、説明すればすぐに分かってくれた。
- 目で見てよく分かる資料の準備や見本があり、子どもたちだけでなくボランティアにも分かりやすかった。
- 子どもたちはとても丁寧に必死に頑張っていて、こちらも教え甲斐があった。



◆水墨画体験 (6年生)

(授業の内容) 水墨画を体験する。

(ボランティアの活動内容) 水墨画の先生と打ち合わせをし、当日の対応をする。



ボランティアでご協力くださった皆様、ありがとうございました。

第2回学校運営協議会が開催されました

10月16日（水）鶴見小学校会議室にて学校運営協議会が開催されました。
今回より2名の協議会委員が交代となりました。

弁護士 山田一誠様の後任→飛田 桂（ひだ けい）様

ココファン横浜鶴見 赤坂定男様の後任→渡邊 唯（わたなべ ゆい）様

◆前期の教育活動について

「6年全国学力学習状況調査分析」「学校づくりのためのアンケートの結果」について、学校より説明がありました。
＜協議会委員からの意見等＞



- ・6年生の学力学習状況調査の結果分析での課題（自己肯定感が低い、規範意識が低い、自分の将来に対して夢や目標をあまりもっていない）は小中とも共通、また現代の中高生の課題でもある。自己肯定感の低さは切実な問題。学校や家庭で対応が必要。
- ・保護者の仕事時間が長くなっていることもあり、子どもたちが保育園に在園する時間が長くなっている。11時間くらいいることも多く、子どもたちにとって大きな負担となっている。習い事も多く、与えられることには慣れていますが、主体的に活動することができていないのではないかと。働きながらの子育ては大変だが、子育ては人の一生を育てること。ぜひ大切にしてほしい。
- ・将来の進路を踏まえ、学習の必要性を親が子どもに伝えることが大切。
- ・鶴見小の児童は学ぶ意欲がとても高い。小学生と思わずに真摯に指導することにしている。
- ・基本的な勉強も大切だが、考えて疑問に思うことも必要。多忙な親の代わりに大人（先生、地域、保護者）が一人ひとりの子どもと関わることができるとよい。
- ・課題となるのはコミュニケーション能力の部分。自分の考えをまとめ、表現するというのは大学生が就活をする上でもとても苦戦している部分でもある。小中学校から人と関わっていくことが大切。
- ・学校に行くのが楽しいと思える子が多いというのは素晴らしい。現代では家庭に全てを任せられないことがあるのも事実。学校で出会う大人が身近な「普通の大人」として、人としても職業としても見本となってあげることが大切。
- ・自己肯定感を改善するには、知らないことを知る楽しさを積み重ねることが大切。
- ・職業や夢については、大人がヒントやきっかけを与えることが必要だと思う。
- ・アンケートでは夢や目標があまりないとのことだが、3月の巣立ちの会では立派に発表する姿が見られる。この1年間で培われるのだと思う。
- ・子どもも地域と関わりたいと願っている。そのことをもっと地域の方に知ってもらって、関わっていただけるとよいと思う。

◆各委員会の報告

環境支援委員会からは、竹馬（10組）と保管用の台の購入について報告がありました。クラブ活動等で活用しています。

教育支援隊・学援隊の主な活動については中面をご覧ください。

◆90周年記念行事について

100周年も見据え、90周年は小規模に行う方向です。今後は90周年準備委員会で議論していきます。